

とめよう原発！かごしまの会総会報告

2016年6月28日 井上勇治

日時：2016年6月27日（月）19:00～20:00

場所：鴨池公民館研修室B 参加：25名 司会：有馬裕子

1、開会あいさつと経過報告、今後のたたかい方 向原祥隆

- ・これまでの経過と一本化に向けた協議の状況を報告し、平良行雄氏が立候補したことが今回の政策合意につながって、「川内原発の停止を九電に強く申し入れること」、今回重要な確認事項である「恒久的な原子力問題検討委員会を県庁内につくり、反対の立場の委員も入れ、答申内容を県として重視すること」を盛り込ませたことは高く評価できることなど訴えた。
- ・今後のたたかい方としては、選挙は勝利することが必要なため、会全体としては無理でも、平良行雄本人や、会員が一人一人判断して三反園訓候補を応援することは、政策合意内容を実現させるために必要なことを訴えた。

2、代表あいさつ 平良行雄

- ・多くの支持していただいた方の声を生かしていくため、最後まで戦いたかったが残念ながら申し訳なかったこと、離島での訴えが非常に印象に残っており、TPPや自衛隊基地問題など多くの課題があることを訴えた。

3、報告と決算に向けたお願い 井上勇治

- ・会計報告では、中間決算ではあるが、7,596,282円の欠損が生じており、その分と今後生じる費用等を見込んで、今後、目標900万円のカンパを集める必要があることを提起した。

4、質疑・応答

- ・一本化に協力した人たちに会へのカンパの協力をお願いすべきではないか。
- ・説明のために離島を訪問するようであるが、薩摩川内にも足を運んでほしい。
- ・会計の数字はまだ途中段階のようであるが監査等は受けているのか。また予備費の金額が大きいようであるが内訳はどのようなになっているのか。
→必要な目標を出すための中間決算なので監査はしていない。今後最終決算をするときには監査を行う。予備費は勘定科目を振り分ける前の細かな費用が入っている。
- ・三反園事務所へ毎日行っている、気持ちはどうであれ応援すべきではないか。
- ・最終的に目標額のカンパを集めるめどはあるのか。
→一本化に協力してくれた政党、個人に200万円、社民党関係者に200万円、共産党関係に200万円、原発のない鹿児島をつくる会に160万円、その他個人カンパ140万円を目標として提起して、会として責任を持って集める。